

## 令和元年度第2回 四国森林管理局事業評価技術検討会 議事概要

1 開催日 令和2年2月12日（水）10：00～11：40

2 場所 四国森林管理局 6階 研修所

3 出席者

(1) 事業評価技術検討会 委員

高知工科大学 経済・マネジメント学群 教授 渡邊法美

森林総合研究所四国支所 産学官民連携推進調整監 佐藤 重穂

(2) 森林管理局

森林整備部長、計画保全部長、企画調整課長、計画課長、治山課長、  
森林整備課長、資源活用課長

(説明者)

森林整備課 課長補佐、設計指導官、森林育成係長、路網計画係長

(事務局)

企画調整課 監査官、監査係長

4 議事概要

○事前評価（高知森林計画区（高知中部森林管理署・嶺北森林管理署）

渡邊委員： 評価結果（案）の必要性の文書について最初の段落が長いため、  
修文してはどうか。背景と目的が1つの段落に入っており、わかり  
辛くなっている。

局： 了承。修文を検討したい。

佐藤委員： 評価についてきちんと算出されており、しかも数字で評価され  
ているところに意義を感じる。

路網も森林整備に大きく寄与していることがうかがえる。

約7割から8割が水源かん養や山地保全等の便益であり、公益  
的機能が大きく評価されている。

当該計画区は比較的天然林が多く、入込者が多いことが特徴と  
思われる。路網の整備や維持管理も一般の通行を考慮した管理が  
重要であり、B/Cでは1.01だがそれ以上に便益があると感じてい  
る。

森林整備では、間伐が重要であり、主伐した場合は更新が必要  
不可欠。民有林では更新の遅れが問題となっている。国有林では  
そのような問題は無いと理解しているが、天然更新も計画されて  
いる中、もし天然更新が失敗した場合にきちんと更新されるよう  
改めてお願いしておく。

森林整備では初期コストが7割以上を占めている。さらに、四  
国ではシカ対策が必要であり、さらに初期コストが割高になるが、  
それでも更新を疎かにするわけにはいかず、きちんとした更新が

必要と考える。

局： 入込者が多い三嶺や工石山といった自然景観が豊かな地域については、より慎重に森林整備を進めてまいりたい。

また、路網整備では災害時の迂回路としての機能も考慮し、地域の安心・安全に寄与する計画としている。

シカ対策については、森林整備便益に含まれており、また、当該地域はボランティア活動が活発な地域であり、今後も国有林とボランティアが積極的に協力し合って整備を進めていきたい。

森林整備については、より多様な森づくりを目指した計画としており、育成単層林施業から複層林施業や天然更新の割合を増やしていきたいと考えている。

天然更新については、更新完了基準が定められており、適切に更新する計画ではあるが、折に触れご指導をお願いしたい。

局： それでは、事前評価、高知森林計画区の評価結果（案）については、必要性について、各委員の意見を参考に修文するとし、「自然景観等の公益的機能の発揮と山地災害からの防備に寄与するため、適切な森林整備が求められている地域であり、必要性、効率性、有効性など評価の観点から、妥当なものとなっている」ということよろしいか。

各委員： 異議なし。